

A I システム科

コンピュータ・テクノロジー

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	ラザフィマナンテナエドウア ルド	実務 経験	有	職種	システムエンジニア						

授業概要

コンピューターの基礎理論、システム開発技術などテクノロジー分野について学ぶ。

到達目標

基本情報処理技術者試験におけるテクノロジ分野での知識を身につけることを目標とする。コンピュータ構成要素では、プロセッサ、メモリ、バスなどについての知識を正しく理解できること。コンピュータシステムでは、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェアについての知識を正しく理解できること。技術要素では、ヒューマンインターフェース、マルチメディアについての知識を正しく理解できること。

授業方法

コンピュータ構成要素では、プロセッサ、メモリ、バスなどについて学びます。コンピュータシステムでは、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェアについて学びます。技術要素では、ヒューマンインターフェース、マルチメディアについて学ぶ。前回の講義内容を理解し、習得済みであることを前提として授業を進める。理解不足は放置せず、復習してから講義に臨む必要がある。

成績評価方法

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

履修上の注意

資料、ノート、筆記用具を必ず持参すること。資格試験は、講義時間の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主観的に自宅学習をすすめることが肝要である。授業に出席するだけでなく、社会人への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。理由のない遅刻や欠席は認められない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

配布資料

回数	授業計画
第1回	H/W コンピュータの基本構成（コンピュータの基本構成について理解できる。）
第2回	H/W コンピュータのデータ表現（コンピュータのデータ表現について理解できる。）
第3回	H/W 中央処理装置と主記憶装置（中央処理装置と主記憶装置の種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）

A I システム科

コンピュータ・テクノロジー

第 4 回	H/W 補助記憶装置（補助記憶装置の種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 5 回	H/W 入出力装置（入出力装置の種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 6 回	情報処理システムの処理形態（情報処理システムの処理形態について、その種類とそれぞれの特徴について理解できる。）
第 7 回	高速化システムの構成（高速化システムの構成について、その方式とそれぞれの特徴について理解できる。）
第 8 回	情報処理システムの評価（情報処理システムの評価について理解できる。）
第 9 回	ヒューマンインターフェース（ヒューマンインターフェースの種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 10 回	マルチメディア（各メディアの種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 11 回	S/W ソフトウェアの分類（ソフトウェアの分類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 12 回	S/W オペレーティングシステム（オペレーティングシステムの種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 13 回	S/W プログラム言語（プログラム言語の種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 14 回	S/W ファイル（ファイル形式の種類とそのそれぞれの特徴について理解できる。）
第 15 回	総まとめ（これまで学んできた内容について思い起こすことができる。）